

IRニュース

東証IRフェスタ2012に参加しました

3月9日・10日に東証が主催する「東証IRフェスタ2012」に昨年に引き続き参加しました。会場には70社を超える企業がブースを出展し、当社ブースにも投資家・株主の皆様をはじめ、たくさんのお客さまにお越しいただき、当社グループの業容に関する説明をすることができました。今後も様々な形で情報提供に努めてまいります。



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
配当金受領株主確定日	毎年3月31日(期末配当)、毎年9月30日(中間配当)
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 特別口座に登録された株式に関する各種手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社の電話およびインターネットでも24時間承っております。 フリーダイヤル 0120-244-479 (本店証券代行部) フリーダイヤル 0120-684-479 (大阪証券代行部) <URL> http://www.tr.mufig.jp/daikou/
公告方法	当社の公告は電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に公告いたします。
単元株式数	100株

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。

株主優待制度について

毎年3月31日現在の株主様に、ココカラファイン、セイジョー、セガミメディクス、ジップドラッグ、ライフオート、スズラン薬局の各店舗でご利用いただけるお買物優待券を以下の基準により贈呈いたします。

[illegible]

なお、株主様のご希望により、「お買物優待券」の全部と引き換えに同等額の「ギフトカタログ」への交換をいたします。



●ご利用方法

当社グループ会社の店舗において、商品の購入代金のお支払いとして、現金との併用または優待券のみのご利用ができます。ただし、調剤診療・介護関連・スポーツ施設に関わるお支払いおよび、酒・タバコ等一部商品にはご利用できません。

みちのく未来基金への寄付につきまして

各店舗でご利用いただいた「お買物優待券」を集計し、総額の5%を当社から『みちのく未来基金』に寄付します。この機会に是非ご利用ください。

※6ページ参照

※本券の有効期限は平成25年5月31日までです。



〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜3丁目17番6号 Tel.045-548-5929



環境保全のため、
FSC®認証紙と
植物油インキを使用して
印刷しています。



Corporate Philosophy

人々のココロとカラダの健康を追求し、
地域社会に貢献します。

2012 Business Report
第4期 報告書 2011年4月1日から2012年3月31日まで

第4期 報告書

2011年4月1日から2012年3月31日まで



証券コード：3098

販売子会社の統合により経営効率を高め、 「おもてなしNo.1企業」を実現していきます。

Q これまでの業績は順調に推移していますが、今後の重点施策について聞かせてください。

当社は、ドラッグストア・調剤薬局を運営する販売子会社5社(株式会社セイジョー・セガミメディクス株式会社・株式会社ジップドラッグ・株式会社ライフオート・株式会社スズラン薬局)を、2013年4月に統合を予定しています。その最大の目的は、店舗がしっかりと「おもてなし」を提供していくための仕組みをより強固にしていくことにあります。このことを統一した業態のもとで推進し、より一層経営効率を高めていくことが狙いです。

新規および既存店舗の名称統一については、まだ決定していませんが、何らかの形で店舗における統一サインを掲げ、「ココカラファイン」ブランドを従来以上に露出していくことを考えています。また、今後の店舗については、立地や商品特性、お客様のニーズに合わせたタイプ別店舗運営への転換を計画しており、「郊外型」「住宅地型」「商店街型」「駅前型」「インショップ型」といった店舗形態に分類して、各タイプに適合したきめ細やかな「おもてなし」の提供を追求していきます。

販売子会社統合の動きの中で、グループ内の介護事業についても再編し、当社の直接子会社である株式会社ファイ

ンケアを運営主体として集約化しました。ファインケアによる介護サービスは、老人ホーム、グループホーム、訪問介護、デイサービスなど多岐にわたっており、これから全社視点で、どの分野に注力していくべきかを見極めつつ、ベストな形態を模索していきます。

今回の販売子会社統合は、「ココカラファイン中期経営戦略 CF5000」の目標達成(2016年3月期における連結売上高5,000億円、連結経常利益200億円、調剤売上比率15%)に向けた中間基準指標となるものです。そして、日本および東アジア地域の「おもてなしNo.1企業」を新たなグループ体制のもとに実現していくことで、さらなる社会貢献を果たしていきます。

Q ココカラファイングループのブランディングについての考えは？

「おもてなしNo.1戦略」では、「ココロ・カラダ・ゲンキを提供するお店」というコンセプトを打ち出しています。単にものを売っていく従来型のドラッグストアと異なる、「ココロ・カラダ・ゲンキ」のための場としての店舗を訴求し、世の中に浸透させていくことがココカラファインのブランディングにつながると考えています。

このような方針の認知度を高めていく上で、お客様に対して最も大きなメディアとなるのが、1万人を超える社員・スタッフです。その一人ひとりが当社グループのミッションへの理解を深めるべく、人材教育を推進していきます。それと並行して、TVCMなどの広告宣伝や店舗サイン、インターネット通販、モバイル情報発信、ポイントカードなどを通じ、ココカラファインが目指すブランドイメージを広く伝えていきます。

なお、今年5月には、「ココカラファイン」を初めて店名に冠した「ココカラファイン吉祥寺南口店」をオープンしました。こうした実験店舗を本年度中に数店舗出店し、お客様の反応などを踏まえて、店舗名称によるブランディングの方向性を定めていきます。

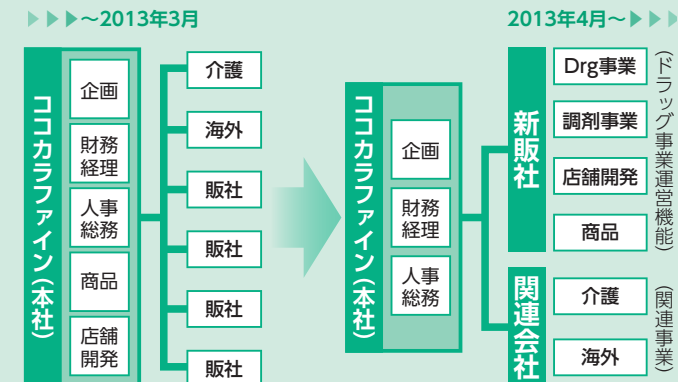


代表取締役社長 塚本 厚志

More Information 1 販売子会社の統合によるシナジー

当社グループは、従来からの計画として、スケールメリットによるコストダウンの追求や、システム面および物流面の一元化などによる販社間シナジーの創出に取り組んできました。今回の販社統合により、これらのシナジー創出がよりスピーディーな意思決定のもとに促進され、経営効率の向上に大きく寄与するものと見込んでいます。

また、店舗形態ごとに営業体制を整備し、店舗に直接関係するサービスを企画・実施することで、それぞれの顧客に最も適した「おもてなし」を提供することが期待できます。



Q 中国市場への新たな出店について お聞かせください。

今年4月、中国・上海市に100%出資による現地法人として可開嘉来(上海)商貿有限公司を設立し、同社による第1号出店として「cocokaraメトロ5番街店」を5月にオープンしました。

当社グループは2009年8月から2年間、現地企業への出資により上海市内でドラッグストア2店舗を運営していました。そこでの調査・検証を通じて得た現地市場に関するノウハウを活用し、今後の東アジア展開の一環として、新たに出店したものです。

中国では、経済成長とともに生活水準が向上しつつあり、日本流のホスピタリティが市場に評価され、人々の共感を得られるベースも広がってきています。当社グループでは、国内店舗で展開している「おもてなし」提供の取り組みを、現地のニーズに適応し、中国および東アジアをターゲッ

トとして、「おもてなしNo.1企業」の拠点づくりを進めています。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

販売子会社の統合に向けた組織改革の中で、当社グループは、事業エリアの拡大を目的とする事業開発本部を新設し、海外事業、EC 事業および新規事業開発を推進していく体制を整えました。今後、「CF5000」の目標達成と次なる飛躍のための自己変革を、スピード感を持って進めてまいります。

当社グループの事業は、その存在自体が社会的貢献に直接大きく関っており、成長・発展を通じて世の中に大きく寄与できるものと自負しています。株主の皆様には、当社株式への投資による社会的意義へのご共感とともに、引き続き長期的なご支援をいただければ誠に幸いに存じます。

More Information 2 中国および東アジア市場への進出

5月にオープンした上海市の「cocokaraメトロ5番街店」は、現在のところ順調に客足を伸ばしています。当社グループでは、同店を中国市場で展開していく日本式ドラッグストアのフラッグシップショップとして位置付けています。

中国のお客様にとって何が必要で、どういう形の「おもてなし」が受け入れられるか、という調査・検証については、過去に行われた現地企業への出資による店舗運営を通じてノウハウ化しており、今後の出店政策において大きな武器となります。

さらに、将来的にはASEAN諸国を含む東アジア地域への拡大を視野に入れています。

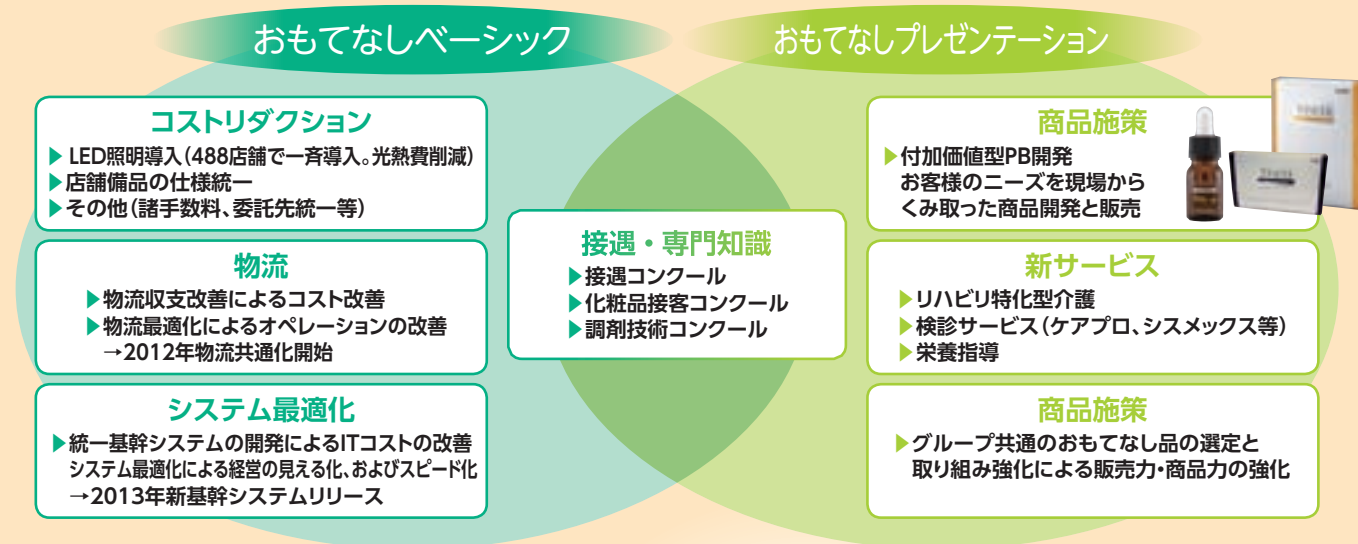
●上海

▶ 中期経営戦略～CF5000～ 実現のために

Vol.1

コーポレートスローガン

『おもてなしNo.1企業になる』
「おもてなし力」を強化し、お客さまへ“感動や喜び”を提供いたします。



介護事業の集約による 事業強化

それぞれで介護事業を運営していた、タカラケア(株)、(有)リハワークス、(株)元気および(株)セイジョーの介護事業を「株式会社ファインケア」に統合・集約し、介護事業の体制強化を図りました。



「ココカラファイン」店舗をオープンしました

5月1日に「ココカラファイン」を冠した店舗「ココカラファイン吉祥寺南口店」をオープンしました。当店舗の特徴は、お客様の健康相談に即座にお応えできるよう専属の相談員を配置したり、ウォーターサーバーを設置するなど今までの店舗にはない様々な施策を実験的に取り組んでおります。お客様にとって“感動や喜び”を与えられるサービスを十分に検証し、効果のある施策につきましては、他店舗へ積極的に展開して「おもてなしNo.1企業」の実現のため推進してまいります。



“ココカラファイン. ネット”4月より開設

インターネットの特性を活かしたサイト展開により、お客様の利便性向上を図るためインターネットショップ【ココカラファイン. ネット】を4月16日に開設しました。

第3類医薬品や健康食品、化粧品等のヘルス&ビューティケア商品から、日用品、食品等の生活必需商品まで、実店舗を超える約2万アイテムの商品を揃えているため、実店舗でのショッピングとは違った楽しみ方もできます。ぜひご利用ください。

<http://shop.cocokarafine.co.jp/>



TVCM 放送開始!

“見慣れないロゴを付けた元気な方をよく見かける。不思議に思いつつ街中を歩いていると、そのロゴが付いたココカラファインのお店を見つける。入ってみると自分も自然と元気に笑顔になった。” ココロとカラダを元気にする「ココカラファイン」のブランド戦略の一環として、このようなテレビコマーシャルを製作し放送を開始しました。

当社の知名度を高め、たくさんのお客様にご来店いただくとともに、コマーシャルに負けないような元気を提供できる企業になります。



当社ホームページからもご覧いただけます。
<http://www.cocokarafine.co.jp/cm/index.html>



福幸(復興) 寄席開催



2月18日(土)に宮城県七ヶ浜町において「復興=福幸」に掛け、寄席を開催しました。

当日は、仮設住宅に避難されている方を中心に、地域の方々約150名の参加をいただきました。演目は、東方落語という古典落語を東北弁に脚色したもの、民謡をベースとした創作落語であり、参加された皆様には親しみがあることもあり場内は笑いの渦で大いに盛り上がりしました。

被災された方々にココロとカラダを少しでも元気になっていただけるよう今後も支援活動を続けてまいります。

●株主優待券のご利用が 震災遺児の進学を支援
店舗でご利用いただいた株主優待券(お買物優待券)の5%を公益財団法人『みちのく未来基金』に寄付いたします。『みちのく未来基金』とは、東日本大震災において被災し、両親またはどちらかの親を亡くされた子供たちの進学を支援するための奨学金基金です。当社としては、基金の趣旨に賛同し微力ながら協力してまいります。

裏表紙も
ご参照ください。

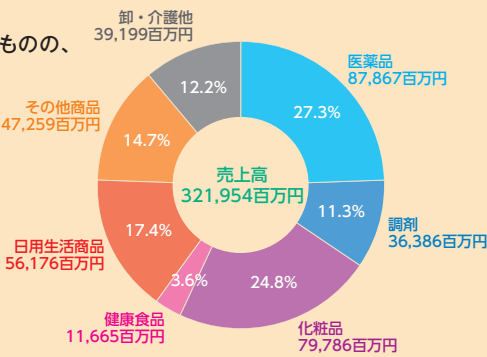


Consolidated Financial Data | 連結財務データ

(単位：百万円)	第4期 (2012年3月期)	第3期 (2011年3月期)	第2期 (2010年3月期)	当期のチェックポイント (増減要因等)	第5期 (来期予想)
売上高	321,954	256,681	190,957	アライドハーツ・ホールディングスとの合併効果やスズラン薬局の子会社化等により、前年同期比65,273百万円の増加となりました。	334,200
売上総利益	79,486	63,587	47,385	合併によるボリューム要因等により、前年同期比15,899百万円の増加となりました。	—
販売費及び一般管理費	70,906	57,211	43,991	合併によるボリューム要因等により、前年同期比13,695百万円の増加となりました。	—
営業利益	8,579	6,375	3,394	販売管理費及び一般管理費が実績値22.0%と計画値から0.4%減少し、前年同期比2,204百万円の増加となりました。	9,400
経常利益	13,467	10,395	7,069	仕入シナジー増大等により3,072百万円の増加となりました。	14,900
当期純利益	7,920	5,911	4,169	前年同期比2,009百万円の増加となりました。	8,800
包括利益	7,943	5,903	—	少数株主損益調整前当期純利益の増加により、前年同期比2,040百万円の増加となりました。	—
流動資産	85,692	66,819	43,511	現金及び預金の増加等により、前年同期比18,872百万円の増加となりました。	
固定資産	55,223	54,541	36,167	有形固定資産及び無形固定資産、投資その他の資産の増加により、前年同期比682百万円の増加となりました。	
流動負債	67,710	53,658	26,565	支払手形及び買掛金の増加等により、前年同期比14,052百万円の増加となりました。	
固定負債	5,927	7,097	7,116	負ののれんの減少等により、前年同期比1,170百万円の減少となりました。	
総資産	140,915	121,361	79,679	前年同期比19,554百万円の増加となりました。	
純資産	67,277	60,605	45,997	前年同期比6,672百万円の増加となりました。	
営業活動による キャッシュ・フロー	21,645	8,140	4,745	仕入債権の増加額の計上により、前年同期比13,505百万円の増加となりました。	
投資活動による キャッシュ・フロー	△4,916	△4,097	△3,001	新規出店等による有形固定資産の取得による支出等により、使用した金額は前年同期比819百万円の増加となりました。	
財務活動による キャッシュ・フロー	△4,553	△3,959	△2,297	短期借入金の減少額の計上により、使用した金額は前年同期比593百万円の増加となりました。	
現金及び現金同等物の 期末残高	24,637	12,461	10,153	前年同期比12,176百万円の増加となりました。	

商品別売上高

- アライドハーツ・ホールディングスとの合併効果により全般的に売上増加
- 医薬品
季節関連商品の不振をグループ商品施策の浸透等の取組みでカバー
- 調剤
処方箋一枚当たり単価の上昇や、在宅調剤への取り組みにより堅調に推移
- 化粧品
震災による落ち込みはあったものの、下期には回復基調に
- 健康食品
美肌、ダイエット関連商材や新製品の自主企画商品『Q10ラブレ』が好調
- 日用生活商品・その他商品
節電対策商品の特需に加え、消費材が堅調に推移



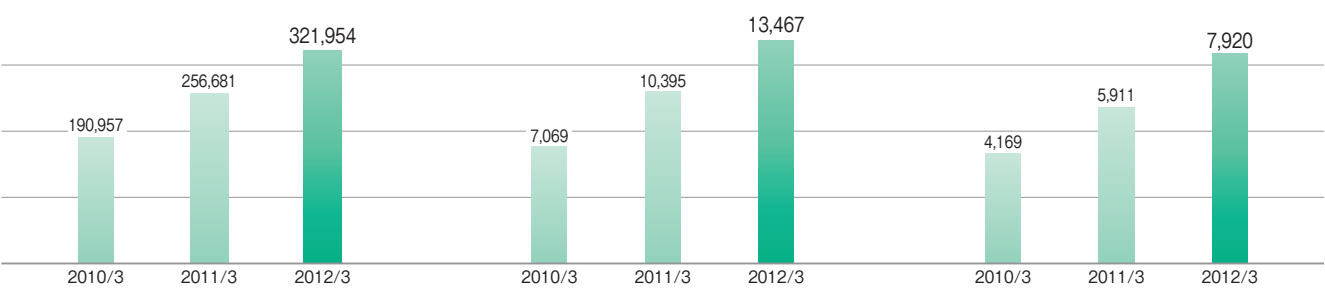
招集ご通知を
リニューアルしました。

株主の皆様の利便性を考慮し、招集ご通知を
リニューアルしました。当期の業績につきまし
ては招集ご通知もご確認ください。

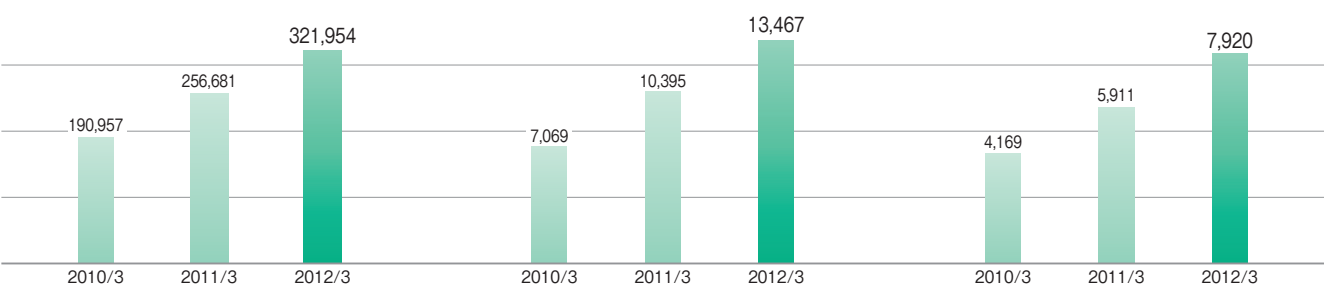


さらに詳しいIR情報は
当社ホームページでご覧いただけます。
IRサイト アドレス
<http://www.cocokarafine.co.jp/ir/>
(招集ご通知も掲載しています)

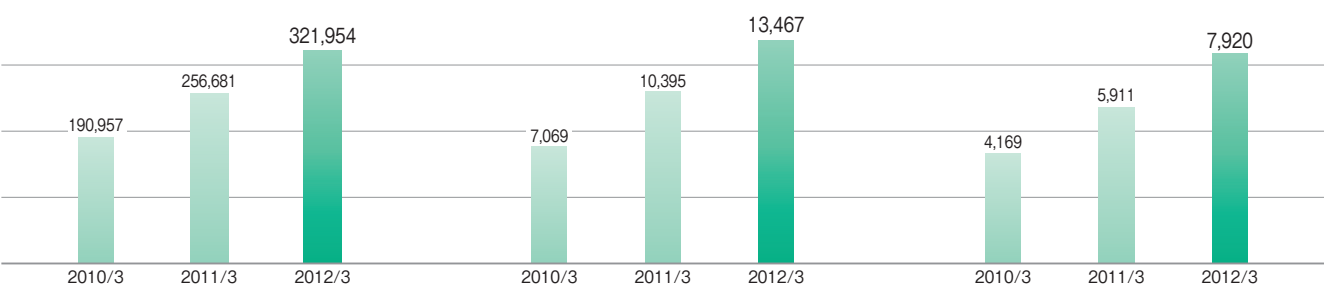
売上高 (単位：百万円)



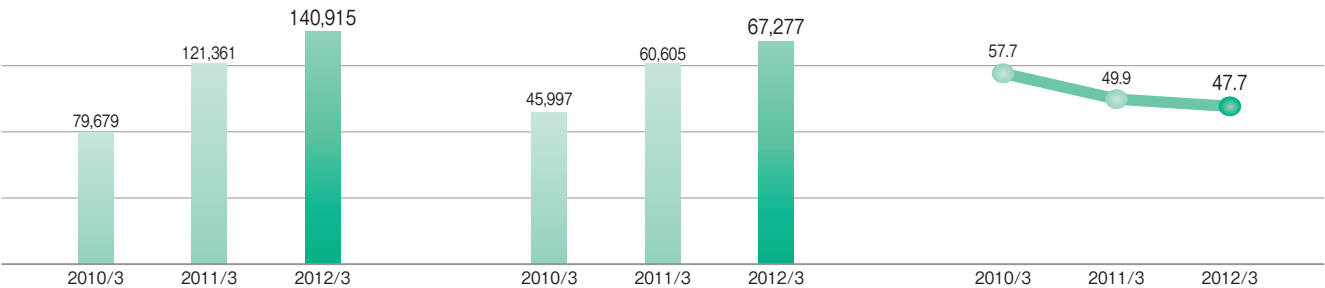
経常利益 (単位：百万円)



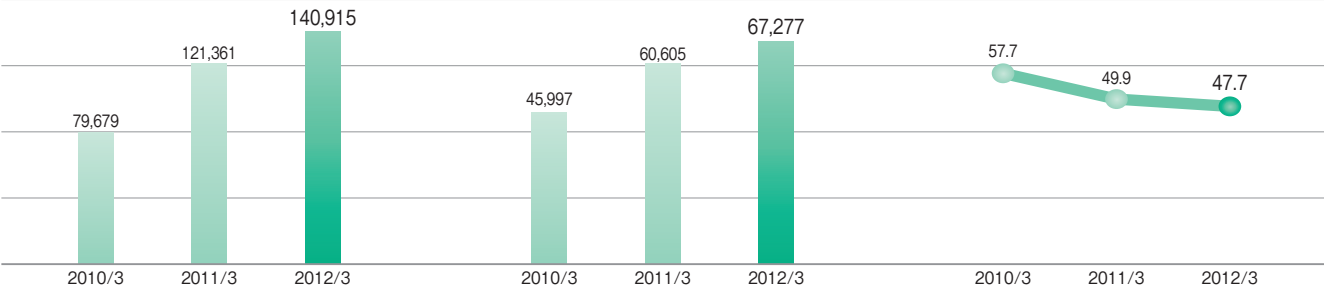
当期純利益 (単位：百万円)



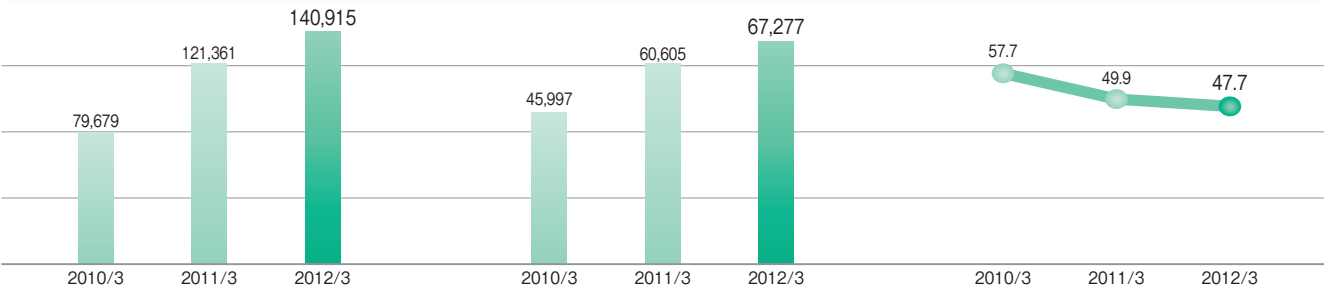
総資産 (単位：百万円)



純資産 (単位：百万円)



自己資本比率 (単位：%)



Corporate Data／Stock Information

会社概要／株式情報

会社概要		(2012年3月31日現在)
名称	株式会社ココカラファイン	
事業内容	ドラッグストアチェーンの運営等を行う子会社およびグループ会社の経営計画・管理・仕入ならびにそれに付随する業務	
本社所在地	〒222-0033 横浜市港北区新横浜3丁目17番6号 イノテックビル	
設立日	2008年4月1日	
資本金	10億円	
販売子会社	株式会社セイジョー 〒222-0033 横浜市港北区新横浜3丁目17番6号 イノテックビル セガミメディクス株式会社 〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目7番30号 株式会社ジップドラッグ 〒452-0808 名古屋市西区宝地町340番地 株式会社ライフオート 〒650-0016 神戸市中央区橘通4丁目2番13号 株式会社スズラン薬局 〒047-0008 北海道小樽市築港11番1号 ウイングベイ小樽	

役 員				(2012年6月27日現在)
取締役会長	久松 正志	常勤監査役	古松 泰造	
代表取締役社長	塚本 厚志	監査役	齊藤 正人	
取締役副社長	石橋 一郎	監査役(社外)	亀沖 正典	
取締役副社長	上田 清	監査役(社外)	大谷 泰弘	
取締役	橋爪 薫			
取締役	上原 俊二			
取締役	濱野 和夫			
取締役(社外)	北山 真			

株式の状況

(2012年3月31日現在)

発行可能株式総数	100,000,000株
発行済株式の総数	25,472,485株
株主数	8,075名

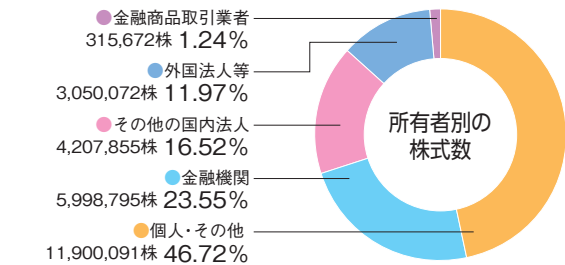
(注)株主数・株式数には自己株式(1名／53,514株)を含んでおります。

大株主

大株主名	持株数(株)	持株比率(%)
齊藤 正人	1,759,248	6.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(管理信託口)	1,683,240	6.62
セガミ不動産株式会社	1,135,920	4.47
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	868,700	3.42
石橋 一郎	762,600	3.00
ココカラファイン従業員持株会	713,400	2.81
第一三共ヘルスケア株式会社	605,017	2.38
株式会社三菱東京UFJ銀行	446,848	1.76
万城目 ひとみ	406,550	1.60
山口 裕子	406,550	1.60

(注)持株比率は自己株式(53,514株)を控除して計算しております。

株式分布状況



(注)株主数・株式数には自己株式(1名／53,514株)を含んでおります。

Store Information

店舗のご案内

(2012年3月31日現在)

北海道および関東以西の幅広い地域をカバーし、それぞれの地域特性に応じた店舗展開を推進しております。
今後も、ドラッグストアや調剤専門店を中心とした出店を行うと同時に、M&Aやアライアンスを活用し、積極的にエリア戦略を進めてまいります。

	セイジョー	324店
	セガミメディクス	381店
	ジップドラッグ	229店
	ライフオート	174店
	スズラン薬局	22店

グループ店舗数合計 1,130店

中国地区	
セガミメディクス	56店
ライフオート	16店
計	72店

九州・沖縄地区	
セガミメディクス	91店

関西地区	
セガミメディクス	134店
ジップドラッグ	53店
ライフオート	158店
計	345店

東海地区	
セイジョー	30店
セガミメディクス	11店
ジップドラッグ	176店
計	217店

四国地区	
セガミメディクス	22店

北海道	
セイジョー	2店
スズラン薬局	22店
計	24店

□…主要提携店舗

関東・甲信越地区	
セイジョー	292店
セガミメディクス	67店
計	359店